

ふりがな

あしわ よしこ

氏名

足羽 與志子

1. 学歴

- 1980年3月 大阪大学人間科学部卒業（文化人類学）
1981年4月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程入学（社会人類学）
1981年5月 スリランカ国立大学コロombo大学大学院シンハラ学部留学
1983年3月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了
1983年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程進学（社会人類学）
1985年6月 ハーバード大学大学院人類学部留学
1986年3月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位修得満期退学

2. 職歴・研究歴

- 1986年4月 神戸山手女子短期大学（現山手女子大学）教養学科専任講師
1989年4月 中国福建省廈門大学人類学系・外文系客員教師（1990年3月まで）
1992年6月 ハーバード大学人類学部客員研究員（1994年8月まで）
1995年9月 一橋大学社会学部助教授
1997年4月 一橋大学大学院社会学研究科に配置替え
1999年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授
2002年4月 コロンボ大学客員教授（2003年4月まで）
2002年8月 コロンビア大学客員教授（2003年6月まで）

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

「国際社会学」「入門ゼミナール」「導入ゼミナール」

（b）大学院

「地球社会文化論」「地球社会研究1」「価値生成論」「文化表象論」「平和の思想」

「価値生成論」「博士論文特論」「先端課題研究」

（B）ゼミナール

学部後期、大学院

4. 主な研究テーマ

グローバル・スタディーズ、文化人類学、宗教、暴力、モダニティ、感情、アート、文化表象、文化政策等
特に仏教のグローバル化、中国仏教復興等の実証、理論研究を継続テーマの一つとする。多様な場面での実証研究をもとに価値生成プロセスを制度と表象の相互作用の理論化を図る。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

- The Metamorphosis of Buddhism: State Projects and Local Practices, edited by Yoshiko Ashiwa, David Wank, and Ji Zhe (in progress).
- The Space of Religion: Temple, State, and Buddhist Communities in Modern China, with David L. Wank (under contract, Columbia University Press).
- Geopolitics of Religious Soft Power, edited by Peter Mandeville. "The Global Promotion of Buddhism by the Chinese State." Coauthored with David Wank. In New York: Oxford University Press (under contract)
- 2021年『グローバル・スタディーズの挑戦：クリティカルに、ラディカルに』編著（足羽・ルイス）彩流社。
「はじめに」p.3-10, 「グローバル・スタディーズの挑戦：制度、実践、思想の間で」p.19-55.
- Buddhism after Mao: Negotiations, Continuities, and Reinventions, edited by Zhe Ji et al, "A Study of Laynuns in Minnan, 1920s- 2010s: Buddhism, State Institutions, and Popular Culture," coauthored with David Wank, pp 210-248. (Honolulu: University of Hawai'i Press, 2019).
- 『二十世纪中国佛教的两次复兴』(The two Buddhist Revivals in the 20th century China); 「現代中国佛教的跨国僧俗网络：跨越民族国家的合作模式与资源流通。」(Transnational networks of clergy in modern Chinese Buddhism: flows of resources and cooperation across national borders), edited by 田水晶 (Daniela Campo), 汲喆 (Ji Zhe) and 王启元 (Wang Qiyuan), co-authored with 王達偉 in 复旦中华文明研究专刊, pp. 113-136 (上海：复旦大学出版社 [2016]).
- 2015年 『平和と和解：思想、経験、方法』足羽與志子、中野聡、吉田裕 編
- 2013 Religion in Today's World: Global Issues, Sociological Perspectives Positioning Religion in Modernity: State and Buddhism in China Routledge .p.124-145.
- 2011 Social Scientific Studies of Religion in China: Methodology, Theories, and Findings, edited by Fenggang Yang and Graeme Lang. "Afterword." Co-authored with David Wank. In Leiden: Brill, 2011: 297-302.
- 2010年 『平和と和解の思想をたずねて』足羽、吉田、濱谷、「平和と和解の研究センター」編著、大月書店
「はじめに」「はじめに」3-13頁「始めの終わり：スリランカにおける暴力の対向点」p.316-341.
- 2010年 『紛争解決の国際政治』中満、ルイス他編著、「平和と和解の文化を育む：スリランカ平和構築と文化政策策」ミネルヴァ書房、p.65-93
- 2010年 『挑戦する仏教：アジア各国の歴史といま』、木村文輝編著「中国：近代化する共産主義国家の仏教」、p.278-293.
- 2009年 『人と社会、つながりの再発見』一橋大学社会学部編、「暴力の記憶と和解への道：スリランカ、ドイツ、沖縄」、彩流社、259-293頁
- 2006年 『徹底検証東アジア』、竹内宏編、「『希望』の約束と成熟したナショナリズム」勁草書房、124-134.
- 2008年 『文化人類学』。「平和と戦争」「社会の構成：構造と反構造」日本放送出版協会 p.170-181 p.153-168
- 2006年 a. 「『希望』の約束と成熟したナショナリズム」竹内宏編『徹底検証東アジア』勁草書房、124-134頁
- 2006年 b. 'The Politics of Reviving Buddhist Temple: State, Association and Religion in Southeast Asia' (co-author, D.Wank) Journal of Asian Studies 65, No.2, May *
- 2004年「仏教」大塚和夫・関一敏他編『宗教人類学入門』弘文堂、53-72頁
- 2003年 "Asian Buddhism and women's role." Women and Religion, Center for Women and Religion, p.141-157
- 2003年 『宗教とはなにか』池上良正、小田淑子、島藺進、末木文美士、関一敏、鶴岡賀雄編、「モダニティと『宗教』の創出」岩波書店、85-115頁
- 2002年 『民族の運動と指導者たち』黒田悦子編、「『宗教』の成立と民族-スリランカと中国の近代仏教改革

者にみるコスモポリタニズムのゆくえ」山川出版社、172-193 頁

- ・2000 年『アメリカが語る民主主義：その普遍性、地域性、相互浸透性』大津留智恵子他編、,「アメリカ民主主義における他者の位置：平和反核運動と『日本』、ミネルヴァ書房
- ・2000 年『現代中国の構造変動 5 巻、社会—国家の共棲関係』菱田正晴編著、「中国南部における仏教復興の動態：国家、社会、トランスナショナリズム」、東京大学出版会、p.239-274.
- ・1996 年『情報化時代は宗教を変えるか：伝統宗教からオウム真理教まで』、池上良正、中牧弘充編著、「情報化時代と仏教の新たな方向」、弘文堂、p.71-85.
- ・1991 年『王権の位相』松原正毅編、「王」の不在と仏教国家」、弘文堂、p.64-92.
- ・1990 年『空海研究』陳国強 編著、「空海的人類学研究之可能性」、華夏出版社、p.250-253.
- ・1985 年『聖地スリランカ—生きた仏教の儀礼と実践』青木保編著、「悪魔とブッダと人間と」、日本放送協会出版、p.169-233.

(b) 論文

“The Chinese State’s Global Promotion of Buddhism.” Coauthored with David Wank, Berkeley Center for Religion, Peace, & World Affairs, Georgetown University (Published online, November 11, 2020).

“COVID-19 Impacts Chinese Buddhism, State Control, and Soft Power.” Coauthored with David Wank. *Religion & Diplomacy*, Cambridge University (Published online, April 20, 2020), <https://religionanddiplomacy.org.uk/2020/04/20/special-report-impact-of-covid-19-on-chinese-buddhism-and-soft-power/>

2018 年 「ファッション、宗教、美術館：メトロポリタン美術館特別展」『国立新美術館紀要 No.5』 p.116-141 *

2016 年 「スリランカにおける仏教寺院壁画と現代の寓話」 『国立新美術館紀要 No.3』 p.82-125 *

2015 年 「イメージを巡る比較と始原の探求について」 『国立新美術館紀要 No.2』 p.240-263. *

2015 “The Revival of Nun Ordination of the Theravada Tradition in Sri Lanka: Landscape of the Culture in the Contemporary World.”, *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, 46 (1), January 2015, p.19-40.199.*

2014 年 「視点の逆転、親密な相交」『イメージの力』国立民族学博物館、p.62-65, p.206-209.*

2009 年 「スリランカ内戦終結—平和の文化にむけて」『世界』 no.798, 12 月号, p. 25-28. *

2008 年 「平和と戦争」「社会の構成：構造と反構造」『文化人類学』日本放送出版協会。p.170-181,p.153-168.*

2007“*The politics of a reviving Buddhist temple: state, association, and temple in southeast China*” coauthored with David Wank, *Journal of Asian Studies* 65, 2 (2006): 337-359. *

2005 “*The globalization of Chinese Buddhism: clergy and devotee networks in the twentieth century*” coauthored with David Wank, *International Journal of Asian Studies* 2, 2 (2005): 217-237.*

2002 年 「スリランカ：タミルとシンハラ、平和構築への道」『世界』 no.705, 9 月号、p.258-266. *

2001 年 「中国のダルマパーラ」『アジア遊学』、no.24, 勉誠出版、p.101-112.

1998 年 「仏教尼僧戒復活にみる現代文化の景観」『一橋論叢』 no,120, vol.4, 10 月号、p.96-123.*

1996 年 「スリランカにおける文化の回復」『国際問題』 no.437, 8 月号、p.61-73. *

1984 年 「シンハラの治療儀礼：その研究と課題」『現代の人類学 4：象徴人類学』 青木保編集、至文堂、p.180-

(c) 翻訳

『文化を書く』 ジェームズ・クリフォード、ジョージ・マーカス他変調、共訳：春日直樹、足羽與志子他、紀伊國屋出版 2006, 2019.

「未開社会とテロリズム」エドモンド・リーチ、『現代思想』青土社、1981,v.9-1,p.198-211,

「メタファーの解剖」デイヴィット・サピア、『現代思想』青土社、1981,v.9-5,p.119-133.

「エイズ健康教育と臨床応用人類学」 ダグラス・A. フェルドマン、『エイズの社会的衝撃』ダグラス・A. フェルドマン、トーマス・M. ジョンソン、監訳 西三郎、姉崎正平、日本評論社、p.157-174.

(d) その他

研究・調査報告書

- ・ 2007 年 *Search for Peace in Sri Lanka: Complexities of Culture, Politics and Society*, ed. “Cultivating Culture for Sustaining Peace Process: Cultural Policy and Conflicts in Sri Lanka,”, Center for the Study of Peace and Reconciliation, pp. 23-37. Hitotsubashi University
- ・ 2010 年 『国際交流基金文化交流研究委員会報告書 「21 世紀、新しい文化交流を」』（共著）平野健一郎、足羽與志子ほか編
- ・ 2005 年 『答申』, 国立市からの依頼による「男女共同参画社会調査委員会」外部評価, 2005.3.20

書評

- ・ 2014 年 *The China Journal* 77: 159-16, review of *From Comrades to Bodhisattvas: Moral Dimensions of Lay Buddhist Practice in Contemporary China*, by Gareth Fisher. Honolulu: University of Hawaii Press; Hong Kong: Hong Kong University Press, 2014.
- ・ 1999 年 杉本 良男著『スリランカ 暮らしがわかるアジア読本』（河出書房新社, 1998.10）, 『民族学研究』第 64 巻第 3 号

随筆

- ・ 2001 年 『ホテルからアジアが見える』青木保他編著、「鼓浪嶼賓館：廈門（中国）、近代の歴史の鼓動が聞こえる小さな島の館」海竜社、p.91-108.
- ・ 2001 年 『ホテルからアジアが見える』青木保他編著、「グッド・ウッド・パーク・ホテル：（シンガポール）風を読む力、風を起こす力が支える名門ホテルのエネルギー」、海竜社、p.199-218.
- ・ 2001 年 『ホテルからアジアが見える』青木保他編著、「マウント・ラヴィニア・ホテル：（コロンボ）月の道のスリランカ」、海竜社、p.261-278.

B. 本研究科着任後の研究活動（着任 1995 年）

(a) 国内外学会発表

(b) 国内研究プロジェクト

- ・ 文部科学省研究費補助金 基盤研究 B “Globalizing Chinese Buddhism: Ideoscape of Values, Ethics, and Lifestyle,” Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology of Japan 2016-2019, (JPY 14,000,000. PI, David Wank, 分担者).
- ・ “New trends of ecumenical interactions in Buddhism: a study of globalization and value change in the contemporary world,” Special Grant for Academic Research on Optional Subjects, Sophia University, 4/2020-3/22, 5 million JPY (about USD 50,000, PI David Wank, 分担者)
- ・ 文部科学省研究費補助金 基盤研究 C, 「ポスト紛争地域における情動と芸術表現についての人類学的研究—スリランカを中心に」（研究代表者）, 科学研究費助成, 2013.4.1-2017.3.31
- ・ COE, 「ヨーロッパの革新的研究拠点形成」（研究分担者）, 一橋大学 文部科学省, 2004-2007.
- ・ 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 A, 「『アジア・太平洋戦争史』の比較と総合：国際的研究教育プログ

- ラムの開発」(研究分担者)、文部科学省、2015-2018.
- ・文部科学省科学研究奨励B-2(海外学術研究)、「文化の「実践」:スリランカ和平構築にむけた文化と経済の総合的復興支援の研究」(研究代表者)、文部科学省、2004.4-2006.3
 - ・トヨタ財団・計画助成、「スリランカ:ポスト・コンフリクトの平和意識と参加型調査研究の実践」(研究代表者)、トヨタ財団、2003.4-2004.3
 - ・トヨタ財団・計画助成、「平和構築プロセスの研究:スリランカ市民戦争の終結にむけて」(研究代表者)、トヨタ財団、2003.4-2004.3
 - ・文部省科学研究費補助金基盤研究A、「日米のナショナリズムと市民像の比較」(研究分担者)、2000-
 - ・東京外国語大学共同研究、「ジェンダーとセクシュアリティ」(研究分担者)、東京外国語大学、2000・国立民族学博物館共同研究、「民族の運動とその指導者達——歴史と個人の動態的關係の研究」(研究分担者)、国立民族学博物館、1998
 - ・文部科学省研究費補助金 国際学術研究 基盤(A)、「アジア諸国における文化政策の基盤と変容」(研究分担者)、文部科学省、1998.4.1-1999.3.31
 - ・文部省科学研究費補助金個人奨励研究C、「スリランカの民族問題研究のデータベース化と在日スリランカ人の動向調査」、文部省、1997-1999
 - ・国立民族学博物館地域研究企画交流センター連携研究、「アメリカ外交の要因としての民主主義」(研究分担者)、国立民族学博物館、1997-1999
 - ・文部省科学研究費補助金重点領域研究、「現代中国における仏教復興運動の分析:再編成過程にある国家と社会の境界」(研究分担者)、文部省、1997
 - ・文部省科学研究費補助金重点領域研究、「現代中国の構造変動——その現段階および21世紀に向けての展望に関する学際研究」(研究分担者)、文部省、1996-1999
 - ・文部省科学研究費補助金国際学術研究、「アメリカの対外関係における民主主義の意味」(研究分担者)、文部省、1996-1999
 - ・文部省科学研究費補助金国際学術研究、「環インド洋西域諸社会における伝統の継承と創出—アジア・アフリカ・アラブ文化の同化と差異化」(研究分担者)、文部省、1995-1997

(c) 国際研究プロジェクト

“Chinese Buddhism in Globalization: States, Communities, and the Practice of Religion.” Henry Luce Foundation, Program on Religion in International Affairs. 2020–2023, USD 300,000, Principal Investigator.

“Reconstructing Civil Society in the Post-Communist Era: The Revival Movement of Buddhism in Contemporary China.” The John D. and Catherine T. MacArthur Foundation, Program on Peace and International Cooperation Research and Writing Grant, USD 100,00, 1998-2000, Principal Investigator.

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

- ・シンポジウム: Sovereignty and Security of Sri Lanka A Critical State in the Global-local Linkage of Socio-political Dynamics 国際文化会館: 報告者 明石康、秋山将信、Jehan Perera, 足羽與志子、於国際文化会館、2019。(英語) organizer/ introduction/ commentator、September, 2019)
 - ・Metamorphoses of Buddhism in New Era of China, organized by Y. Ashiwa, D. Wank, Ji Zhe, with Institut national des langues et civilisations orientales (Paris, Franc, March 21-22, 2019) organizer and presenter
- Presentation: *State Promotion and its Strategies at a Buddhist Culture Products Fair*:
- ・地球社会研究専攻創立20周年記念シンポジウム 2017 佐野書院

・ *The Politics of Religion in Contemporary China*, organizer and presenter, Stanford University, Stanford Univ., May July, 2004.
ほか多数。

国際会議等での講演

- ・ *Murals of Buddhist Temples and Modern Allegories in Post-War Sri Lanka*. “Poetic Imagining(s) of South Asia: Borders and Nations”, South Asia University (Delhi, India, April 22, 2019) *
- ・ Metamorphoses of Buddhism in New Era of China, organized by Y. Ashiwa, D. Wank, Ji Zhe, with Institut national des langues et civilisations orientales (Paris, Franc, March 21-22, 2019) organizer and presenter, Presentation: *State Promotion and its Strategies at a Buddhist Culture Products Fair*. *
- ・ Cultural Mobilities of Chinese Buddhism as Strategies of Religion and the Chinese State, Symposium: *Cultural Mobilities and their Transnational Entanglements in East Asia*, organized by Soysal, 2018, Free University of Berlin.
- ・ *Globalization and Images : Immobility, public art and religion*. Erasmus Global Week lecture for Global Studies , Pombeu Fabura University (Barcelona, Spain February 2017) *
- ・ *Some perspectives on global studies in the non-western academy*. Global Studies in Japan and East Asia International Symposium Sophia University (November 2016) *
- ・ *Rebuilding the Minnan Laynun Tradition: State and Localization of Chinese Buddhism* at the symposium " Buddhism after Mao" at Institute national des langues et civilisations orientales Sorbonne (Paris, France, October 2014) *
- ・ Transnational Clergy and Devotee Networks in China’s Twentieth Centuries Buddhist Revivals. Workshop: Conference (The two ‘Buddhist Revivals’ in 20th Century China: Continuities and Discontinuities) Fudan University, China. (December, 2013)
- ・ 「アジアにおける平和の基盤：文化、ネットワーク、ガバナンス」コーディネータ、司会、報告、2010年2月、一橋大学東アジア政策研究プロジェクト、如水会館、東京 *
- ・ Keynote Speech: Hope in Trouble Time and the Role of Public Intellectuals c , the 25th Anniversary International Conference, Rethinking the Past, Reshaping the Future, Eastern University, Baticaloa, Sri Lanka, 2006.12. *
- ・ *Culture for Understanding: toward the peace in Sri Lanka*. Seminar, organizer, presenter, chair, Colombo Univ., Sri Lanka Foundation, sponsored by Ministry of Education, Japan. February, 2005 *
- ・ “The Role of Public Culture in Building East Asian Identity”, Building East Asian Identity, chair and presenter, Ministry of Foreign Affairs, Republic Korea, Korean Institute of Southeast Asian Studies, 2005, February *
- ・ *The Politics of Religion in Contemporary China*, organizer and presenter, Stanford University, Stanford Univ., May 2004 *
- ・ *Positioning Religion in Modernity: State and Religion in China* (The Politics of Religion in Contemporary China) , 2004
- ・ Memory and Experiences of Disaster: The Cases of Jaffna and Japan (Constructing Peace Society) , Sri Lanka Foundation, December, 2004.
- ・ The Politics of a Local Religious Field: Buddhism in Xiamen (The Politics of Religion in Contemporary China) , Sophia University, June, 2003.
- ・ *A story of Temple In China :state, local and transnational*, Harvard Univ., Asian Center: March 2003 *
- ・ Heidelberg Univ., *On Values and Happiness of life: New York and Jaffna* Oct. 2003 *
- ・ Politics of the Buddhist revival in China: state, association and temple (Colloquium presentation of Asian Ceter, Harverd University)、October, 2003 *
- ・ Columbia Univ., Dept.of Anthropology and SERP, *The Politics of Buddhism’ Revival In China* : Oct.2002 *
- ・ *The Politics of Religion in Contemporary China*, organizer and presenter, Stanford University, May 2004 *
- ・ 民族問題は消えるのか：テロリズムと平和の論理 (第35期一橋フォーラム21)、1997 *

C. 受賞

ロータリー財団奨学生（ロータリー財団、スリランカ・コロンボ大学大学院留学

フルブライト奨学生（フルブライト日米教育委員会）

新渡戸フェロー（国際交流基金・国際文化会館）

フルブライト・シニアフェロー（アメリカ・コロンビア大学：2002.8-2003.8）

6. 学内行政

（A）役員・部局長・評議員等

大学院教育専門委員

（B）学内委員会

大学将来構想委員（山内学長当時）

（C）課外活動顧問

「平和と和解の研究センター」設立、共同代表（2007—）

・「シャコンヌへの道」寺神戸亮 コンサート（2007）

・「澤地久枝記念公演」（2008）

・「祈るように語り続けたい——吉永小百合さん原爆詩朗読会」（2009）

・「原爆体験：記憶と記録」濱谷正晴教授

・「平和の響き」ベトナム国立交響楽団演奏会（国交樹立記念公演）

7. 学外活動

（a）他大学非常勤講師など

東京大学大学院人文社会系研究科（1994?）

大阪大学人間科学部（1986-1988）

成城大学法学部（1994-1995）

（b）所属学会および学術活動（2021年現在）

日本文化人類学会

Global Studies Consortium

Association for Asian Studies, Tokyo Branch, Asian Studies Conference in Japan 理事（2005-2008）

（c）公開講座・市民講座 (invited lectures for college students)

・Erasmus Global Week lecture for Global Studies for three days at Pompeu Fabra University, (Barcelona, Spain February 2017)

・*Layers of Encountering Buddhism between China and Sri Lanka from the time of modernization to current global context.* Public lecture and seminar of the lecture series on Globalization and Religion, Chinese University of Hong Kong (Hong Kong, March 2017)

- ・ Global Studies and Modernity of Buddhism, public lecture at 廈門大学人類学部系, 中国、2016
- ・ 国際交流基金連続講座 「アジア理解講座」『スリランカ和平構築への道のり』主催と報告 2005.10-12
- 一橋大学市民公開講座「幸福のゆくえ」平成17年「幸福のゆくえ：生きる力、文化の力」

(d) 高校生向け出張講義・模擬講義

神奈川県立川越女子高校
静岡雙葉学園

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

国際博物館会議(ICOM)日本委員会評議員 (2017～)、
文部科学省教科用図書検定調査審議会委員 (2016～)、
国立新美術館評議員 (2012～)、
静岡県立大学グローバル地域研究センター・ガバナンス委員会委員 (2015～)、
兵庫県立美術館運営評議員 (2019～)、
国立市文化芸術条例制定委員会副議長 (2017～)、
フルブライト選考委員
トヨタ財団学術研究助成選考委員
国際交流基金、国際文化会館 Asian Leadership Fellow Program 選考委員 (2013-2017)
国際文化会館 牛場フェロー選考委員
国際交流基金外部評価委員、
静岡総合研究所静岡アジア・太平洋学術フォーラム組織員 (2014-2015)
独立行政法人日本学生支援機構留学生交流支援制度 (長期派遣) 審査委員 (2009-2010)
文部科学省長期海外留学生派遣審査委員 (2006-2007)
独立行政法人国際協力機構 (JAICA)スリランカ国別支援委員会 (2005-2006)
国立市男女平等実現のための市民委員会外部評価委員長・女性問題市民会議議長 2004-2006
日本政府派遣スリランカ選挙監視団副団長、2004
スリランカ大統領選挙監視北部責任者 (PRAFFEL) 2005
国際協力事業団スリランカ地域別支援委員会委員 2005-2006

9. 一般的言論活動

テレビ：NHK 「視点、論点」 2回 (2003, 2006)
NHK 「World News/ Asian Weekly BS1 (英語版)」 3回 (2003)
NHK 「ワールド・ニュース (日本語版)」 2回
スリランカ国営放送 (朝のニュース：シンハラ語版) 1回
ラジオ NHK ラジオ「Asian Weekly (英語版)」 2回
静岡FM放送「パーソナリティ」 1回
スリランカ国営放送ラジオ (英語版) 2回 (2004)
放送大学「文化人類学」(2回)
新聞 Daily News (スリランカ・英語版) 2回、(シンハラ語版) 2回 2002
Dina Mina (スリランカ・シンハラ語版) 2回、夕 (ミル語版) 1回 2002